

平成 18 年度福岡市予算が成立 新事業に公明党の主張が反映！

平成 18 年度予算は 1 兆 8、839 億円となり、平成 17 年度と比較すると△104 億円となりました。これは地方交付税の大幅削減が行われたためで、今後、行政のスリム化と歳出の徹底的見直し、また財源の重点配分を行う施策が重要になります。

★財政健全化へ「事業仕分け」を

新年度予算案などを審議した第 1 回定例市議会にて、公明党福岡市議団は市長の市政運営方針、予算案などについて質問しました。主な質問項目は、財政見直しと財政健全化への取り組み、行政改革、電子市役所の推進、健康で快適に生活できる医療・福祉のまちづくり、少子化対策・子育て支援、教育問題、文化芸術とスポーツの振興、環境問題、コミュニティの活性化、安心・安全・快適なまちづくり、活力ある地域経済の確立、食の安全・安心の確保、アジアや世界に開かれたまちづくり、オリンピック招致：：などで、多方面から山崎市長の市政運営に対する姿勢などを質問しました。

中でも予算編成については、新年度も 2 年連続の前年度比マイナスとなりましたが、来年度以降も歳入面での交付税減額、歳出面での扶助費の増加傾向などを考えるとなお一層の緊縮財政を強いられるとして、公明党がかねてから推進している「事業仕分け作戦」の早期着手を訴えました。

また少子化対策として、保育所待機児童の早期解消、留守家庭子ども会の充実、放課後の子どもたちの安全確保などを強く要望し、教育問題では教職員の資質向上、少人数学級の推進などを主張しました。

更にオリンピックは、市民が熱意を持って招致運動に取り組みるよう「新たな発想」「新たな視点」での構想を強く求めました。

民間住宅の耐震化が前進 予備診断も助成へ 耐震改修や塀撤去費用も

★福岡市は民間建築物の耐震化を促進するため、18 年度から

マンションなど共同住宅を対象とし耐震診断費の一部補助を予備診断にまで拡大。共同住宅や木造戸建住宅の耐震改修、危険ブロック塀の撤去・改修も費用の一部を助成します。

住宅の耐震化は、福岡県西方沖地震発生以来、公明党が機会あるごとに訴えており、新年度からスタートしました。



山口議員らの勉強会状況

共同住宅の耐震診断費補助事業（2/3）は昨年 11 月に導入しました。耐震基準が強化された昭和 56 年以前に建てられた 3 階建て以上で、延べ床面積千㎡以上の共同住宅が対象です。

耐震診断は、柱や壁の強度を調べる本格的な 2 次診断のため費用も高額で、申込み件数はこれまで 1 管理組合のみでした。そこで今回、簡易に安全性が確認できる予備診断を補助対象に含めることにしました。予備診断には、20 ～ 30 万円程度の費用が見込まれており、助成（2/3）を受ければ更に安くなり、より診断が受けやすくなります。

耐震改修費への補助も国の制度を活用して 18 年度から実施されます。旧耐震基準の建物を対象に共同住宅は管理組合、木造戸建住宅は所有者に、それぞれ改修費用の 15・2% を国と市が半分ずつ補助します。更に同地震の死亡事故がきっかけとなった危険なブロック塀（約 700 カ所）の撤去・改修費の助成（1/2）にも乗り出します。

◇18年度予算 に反映された 公明党市議団 の主張を紹介 します。◇

★この3月議会で成立した福岡市の平成18年度予算には山口議員をはじめ公明党市議団が主張していたことが、数多く反映されています。それらの中からいくつか紹介いたします。

○**少人数学級を小学二年生でも**
昨年度から小学校1年生に1学級35人以下の少人数学級にしましたが、今年度より2年生まで拡充します。

○**保育所待機児童の解消と多様なサービスを推進**
19年度初頭の待機児童をゼロにできるよう保育所整備を進めるとともに、週2・3日とか午前・

午後のみ利用といった多様な保育サービスを展開します。

○**乳幼児医療費助成の拡大**
通院の助成対象年齢を小学校就学前まで順次拡大していきます。

初診料無料については、県の助成を得て19年から実施の予定です。

○**留守家庭子ども会事業の充実**
保護者の多様なニーズに応じて開設時間延長、土曜日開設をはじめ施設の増改築など事業の充実を図ります。受益者負担が導入されますが、低所得者対策として利用料の減免制度を取り入れます。

○**地域ぐるみの学校安全体制**
学校安全ボランティアを養成するほか、防犯の専門家をスクールガード・リーダーとして委嘱、学校の巡回指導や安全体制の評価など行ないます。

○**発達障がい者支援体制整備**
発達障がい児・者とその家族に対し、乳幼児から成人期まで連続した支援を行なう発達障がい者支援センターを設置し、支援体制の強化を図ります。

○**食育の推進**
市民の健全な食生活を支援する

ため「福岡市食育推進計画」を策定し、計画の推進や普及啓発に努めます。

○**地域における高齢者の自立支援**
地域包括支援センター設置、生活支援サービスなど高齢者が地域で生き生きと暮らせるまちづくりを推進します。

○**若年無業者の自立支援**
就労への一歩を踏み出せない若年無業者が、就労に向けて主体的に活動できるようにするまで支援していきます。

○**伝統産業の振興**
博多織のブランド化や後継者育成(養成学校)、博多人形後継者育成などを進めます。

○**ふくおか野菜ランド推進**
学校給食への市内産農産物利用の推進と農地の有効活用、市内農産物を活用した特産加工品開発(焼酎)などを進めます。

○**東区大学・地域まちづくり事業**
地域の身近な問題を解決するために、大学と地域、区役所が協力し地域活性化につながるような若い力・活力を活かした街づくりを進めます。

アラカルト

★3月11日水源涵養保安林植樹に参加しました



こなら、桜の植樹風景(早良区板屋)

★4月1日世界クロスカントリー大会が海の中道公園で開催



日本女子団体が銅メダル獲得